

～iPad登場から10年～

# タブレットをビジネスに活かすには？



株式会社エージェンテック

1

## タブレット端末について

- ・タブレット端末の歴史
- ・タブレット端末の特長
- ・タブレット端末の普及状況

2

## タブレットのビジネス活用

- ・ビジネスシーンでの普及状況
- ・ビジネスで有効活用するには？

3

## ABookBizで有効活用

- ・製品について

4

## 実績紹介

- ・導入事例
- ・ABookシリーズの実績

## タブレット端末の歴史

**2010年**に米国アップル社より「iPad」が発売されました。パソコンともスマートフォンとも異なる新しいカテゴリーの製品として世界中の注目を集めました。

発売当初は、存在に対する懐疑的な声もありましたが、熱心なアップルユーザーやガジェットファンなどを中心に売上を伸ばしていきました。

その後、米国グーグル社「Android」やマイクロソフト社「Windows」の各OSに対応した製品も各メーカーから発売され、**タブレット市場は一気に活性化**しました。



現在では、タブレット端末の**サイズバリエーションも豊富**に揃っています。

また、スマートフォンから「ファブレット」と呼ばれる大きな画面の製品群も派生しています。

一方、ノートパソコンにもタッチパネル機能を備えた着脱式ディスプレイの「2 in 1」と呼ばれるタブレットとパソコンの両方の特徴を備えた製品群も市場を形成しています。

**タブレットは独自の進化を続けています**

## タブレット端末の特長



### 小型・軽量で高い携行性

通常のノートパソコンと比べると小型・軽量。  
バッグに無理なく入るので、気軽に持ち運べて場所を選ばずに利用することができます。



### 直感的な操作性

ピンチイン・ピンチアウト、スワイプ、フリックなどスマートフォンでもお馴染みの直感的な操作性。  
ページめくりや画像の拡大なども自在にできます。



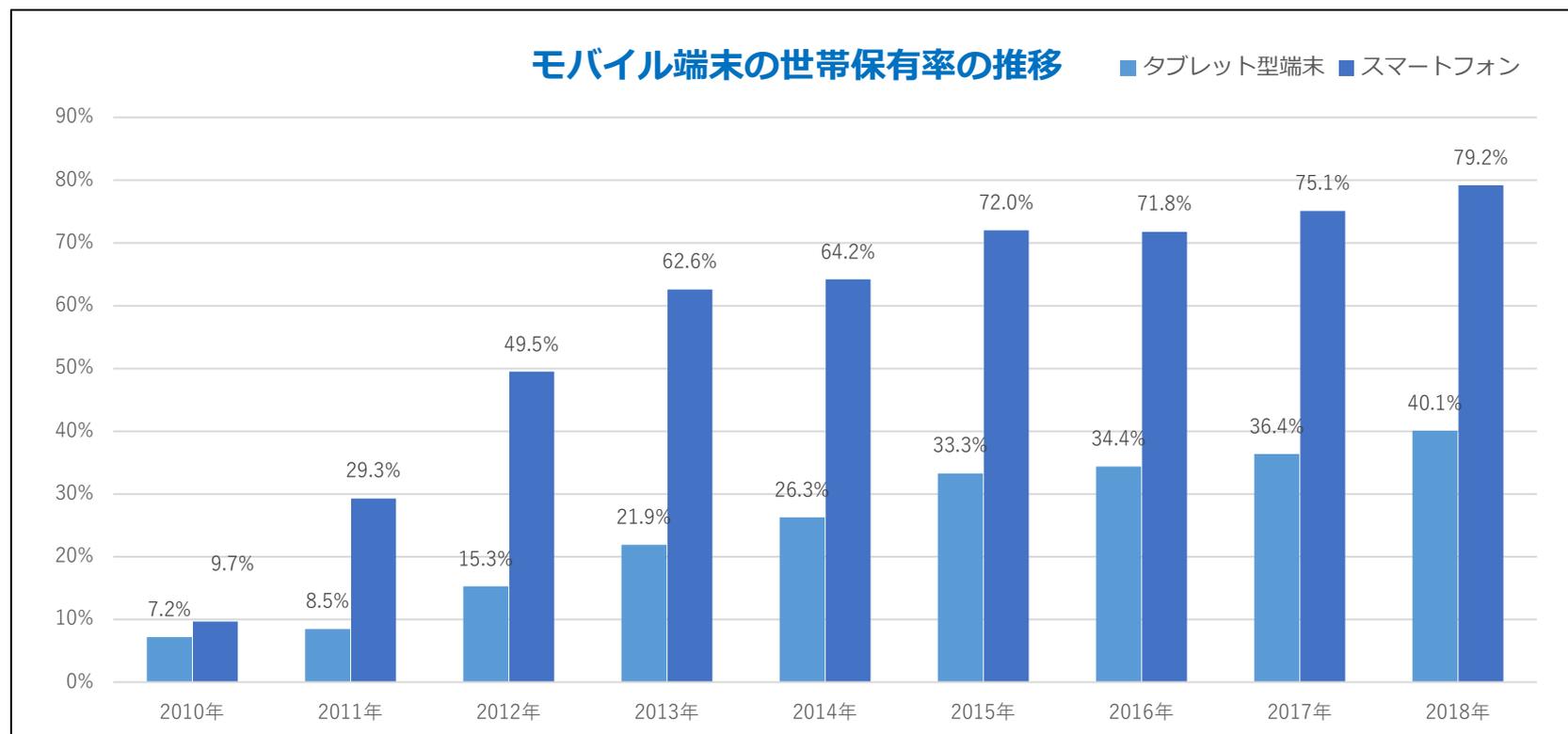
### 鮮やかなディスプレイ

同サイズのノートパソコンと比較して高解像度ディスプレイの製品が主流になっています。  
動画などのリッチコンテンツも精細に表示されます。



## タブレット端末の普及状況

タブレット端末は2010年から普及が進み、2018年には**全世帯の40%超**で保有されています。  
また、80%近くまで普及しているスマートフォン端末を合わせたモバイル端末全体で見ると、この10年間で**飛躍的に進んだ**ことになります。



※総務省「通信利用動向調査」から引用

### ビジネスシーンでの普及状況

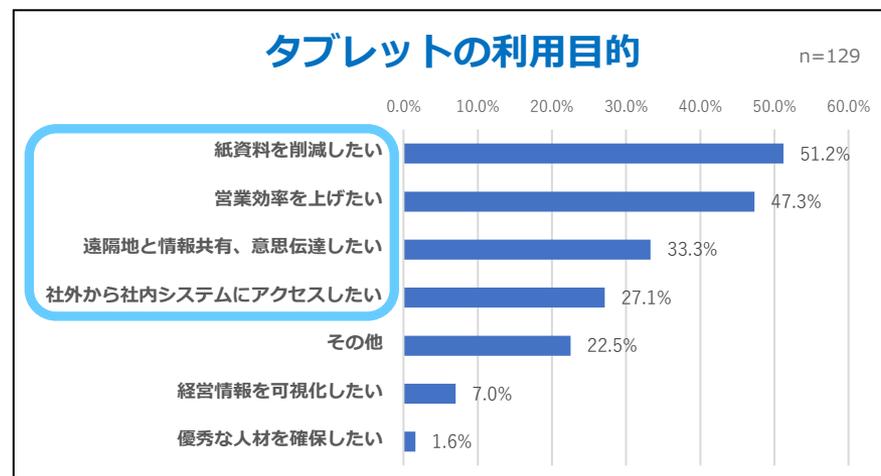
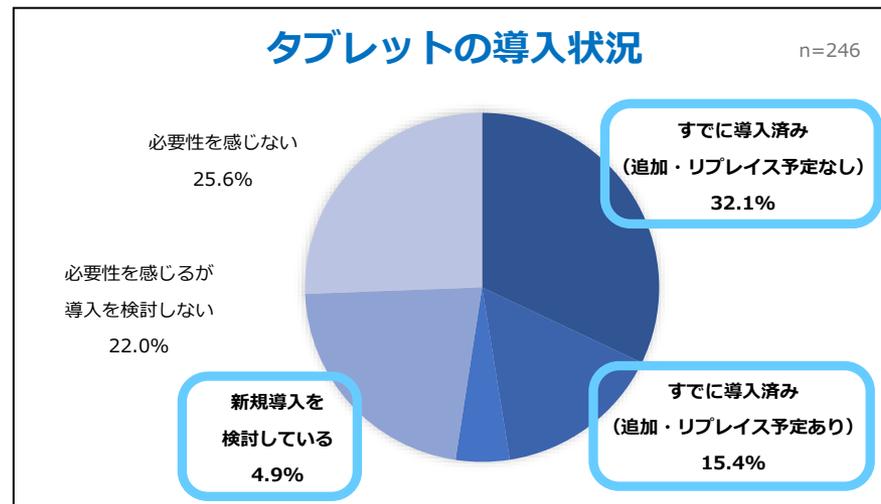
普及が進むタブレットですがビジネスシーンでの普及状況はどうなのでしょう？

キーマンズネットのアンケート調査によれば、タブレットをすでに**導入済み**、または**導入を検討**している**企業は50%を超えています**。

必要性を感じていながら導入していない企業を含めれば約75%となり、タブレットの需要はかなり高いといえます。

次に、利用目的を見ると費用対効果が分かりやすい**紙の削減**をはじめ、**営業効率の改善**、**遠隔地と情報共有**が続きます。

タブレットの特長を生かして営業活動や社内情報の共有を円滑にすることを企業は求めているようです。



※キーマンズネット「『タブレットの導入状況』に関するアンケート（2019年2月18日～3月6日）」から引用

### ビジネスで有効活用するには？

ここまで見てくるとタブレット端末には、機能性・利便性の高さによるメリットが多くあります。

しかし、タブレットを導入するだけでは、十分なメリットを得ることはできません。

タブレットをすでに導入した企業において、**十分に活用できていない**ケースも多く見かけます。

利用目的を明確にし、それに見合ったアプリケーションを選定することが重要なポイントといえます。



メールとWEB閲覧にしか使っていないなあ…



セキュリティ対策で使い勝手が悪くなった

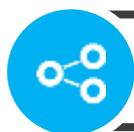


ペーパーレス化はできたけど、運用が大変…

エーブック・ビズ  
当社製品・ABookBizなら、これらの課題を解決できます！

ABookBizは、タブレットをビジネスに活用するための**コンテンツ管理ソリューション**です。コンテンツ（※）を集中管理して、社内などの限られた環境内で安全に共有することができます。さらに、編集ツールを使って、そのコンテンツに動画や画像、音声などを組み合わせて表現力豊かに“進化”させることも可能。

BYOD（私用デバイス）に対してもコンテンツの管理ができるので、情報流出などのセキュリティリスクを回避。一般的なストレージサービスでは実現できない「**利便性**」と「**安全性**」を併せ持ちます。



社内ドキュメント共有



営業プレゼンテーション



ペーパーレス会議



ABookBizで  
タブレットを  
ビジネスに活用

※「コンテンツ」とは社内資料などのドキュメントのほか、動画、画像、音声など多様なデータを指します。

ABookBizは、社内のあらゆるドキュメント（書類、写真、動画など）をそのままサーバーにアップロードするだけで、**安全な環境で管理・共有**ができます。

共有したドキュメントは、閲覧できるグループ・メンバー、共有期間、閲覧回数などを設定したり、更新・削除も一括管理できるので、**常に最新・最適な状態**で共有することができます。

資料内にリンク設定もできるので、資料をインデックス化してスピーディに閲覧することも可能です。また、検索機能を使えば、たくさんのドキュメントの中から迷わずに閲覧できます。



ABookBizの**編集ツール**は、写真や動画を組み合わせることでビジュアル化された資料が制作できます。商品の写真や動画などを使えば、アピールポイントが分かりやすくなりプレゼンの説得力が増します。さらに、パノラマVRコンテンツも制作できるので、より臨場感のある資料へと進化します。

資料には、各種リンク設定もできるので、資料から資料への遷移もシームレスに表示が可能。お客様をお待たせすることなく、要望に合った提案をすぐに提示できます。

ABookBizなら、ライバルに差をつける **効果的なプレゼンテーション**が可能 です。



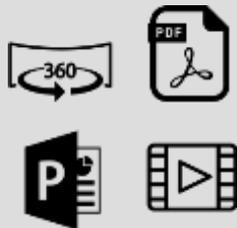
ABookBizは、管理画面で資料の共有設定をするだけで、会議参加者の**タブレット端末に資料を共有**することができます。今まで面倒だった会議資料の印刷やホチキス留めなどの準備作業は不要です。会議資料の共有範囲の設定や会議後の削除など、多様な設定項目により安全に資料を管理できます。

また、資料に動画や写真などを取り込んで、紙の資料にはないリッチな表現を加えることができます。タブレット端末の特性を生かした「伝わる」資料を使えば、退屈な会議も**議論が活発化**します。

ABookBizは、多彩な機能でペーパーレス会議の効果を最大化します。



## 様々なデータを共有



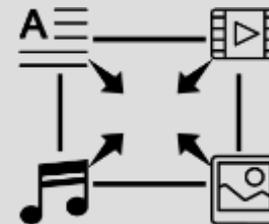
書類や写真のほか、大容量の動画や360度パノラマVRも共有できます。ダウンロードタイプなので、大容量ファイルも快適に閲覧できます。

## 資料を集中管理



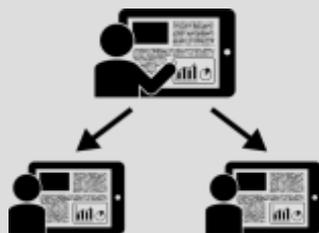
各社員のタブレット端末内の資料を管理者が集中管理できます。資料の差し替えや修正、削除など、最新の状態で共有できます。

## 資料をアレンジ



編集ツールを使えば、資料に写真や動画などを加えることができます。紙では表現できない、分かりやすい資料になります。

## 閲覧者の範囲を限定



閲覧権限を設定して、必要最小限で資料を共有できます。情報漏えいのリスクを回避します。

## 閲覧データを分析



社員の資料の閲覧状況が分かります。資料の活用度のチェックだけでなく、資料の改善にも役立ちます。

## 資料を自動消去



タブレットの盗難や紛失などが発生しても、独自暗号化と管理画面でのファイルコントロールにより大事な資料を守ります。

### 東京急行電鉄株式会社 様



- 乗務員の携行品の重量が、8kgほどから半分以下に軽量化
- 1,000人以上の乗務員に配布する規程類の改訂作業が容易に
- ダウンロードタイプなので、いつでも安全に資料へアクセス可能



#### 課題

社内でタブレットを導入する話が持ち上がり、各部署の規程類をデジタル化することについて検討。部署によっては規程類が100種類にも及び、必要な情報をすぐに見つけられない状況でした。また、乗務員は規程類の携行を義務づけられており、その重量は8kgもありました。

#### 導入効果

ABookBizを導入して、規程類を安全にデジタル化できました。規程類が軽くなったことで「携行性」が大幅に向上。必要な情報へ素早くアクセスできるようになり高い「操作性」も獲得しました。さらに更新・管理が省力化されたことで、規程類の改訂を柔軟に対応できるようになりました。

## 4 実績紹介：ABookシリーズの実績



※1 ミック経済研究所「コラボレーション・モバイル管理ソフトの市場展望2021年度版」による  
※2 2020年10月現在

最後まで本資料をご覧いただきましてありがとうございます。



製品の詳しいご説明やデモンストレーションをご希望される場合は、弊社までお気軽にご相談ください。

運用設計からカスタマイズまで、お客様の業務改善をサポートします。



開発・販売元：株式会社エージェンテック

ABookBizの製品に関するお問い合わせは、電話またはメールにて承っております。

(営業時間 9:30~18:30/土日祝日除く)



03-6206-4361



sales@agentec.jp